

令和6年12月17日(火)～令和7年3月16日(日)
会場：体感！しだみ古墳群ミュージアム (TEL：052-739-0520)

冬の企画展示「鉄」

—SHIDAMU 企画展示 もっと知りたい！ 古墳時代²⁴—

鉄の道具をつくる「わざ」

古墳時代には、朝鮮半島から鉄の素材を輸入したり、^{さてつ}砂鉄などから「たたら製鉄」と呼ばれる方法で鉄を生み出したと考えられています。これらの方法で手に入れた鉄を加工して、^{ぶく}武具や^{ばぐ}馬具などの生産を行っていました。

鉄が使われる道具の例

かぶと

戦いの時に頭を保護する道具。

よろい

戦いの時に胴体やすねなどを保護する道具。



太刀^{たち}

片側だけに刃があるよ。戦国時代の侍が持っている日本刀と違って、多くは反りのないまっすぐな直刀^{ちよくとう}とよばれる形なんだ！

馬具^{かがみ}

これは鏡板^{かがみいた}といって鈴が付いているよ。武人が馬に乗って走ったらどんな音が聞こえるかな？ 馬具にはいろいろな種類の装飾があるから、いくつ装飾があるか展示室の志段味大塚古墳の王を見てみよう！

矢じり^{てつそく}（鉄鏃）、刀子^{とうす}など… 展示室のどこかに展示してあるよ、探してみよう！

鉄の道具をつくる時、加工する時に使う道具の一例



^{てつてい}
鉄鋳（鉄の素材）



たがね（金属や岩石を加工するための道具）



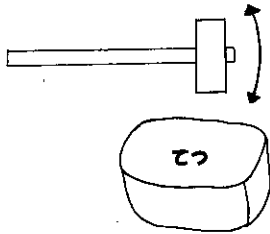
^{といし}
砥石（金属や岩石をみがくための道具）

金属製の道具のつくり方

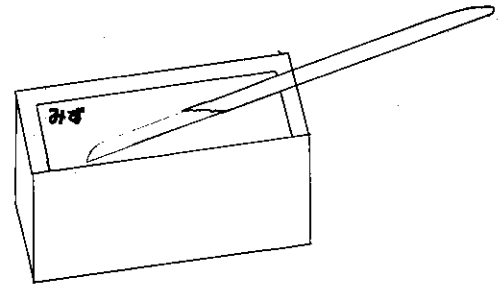
古墳時代の金属の加工方法には鍛造と鑄造の2種類があったと考えられています。

鍛造（大刀を例として）

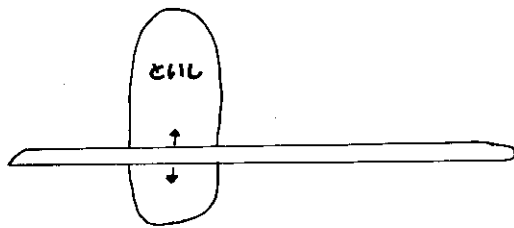
金属を叩いて変形させる方法で、壊れにくい（強度がある）ものをつくるのに向いているよ！



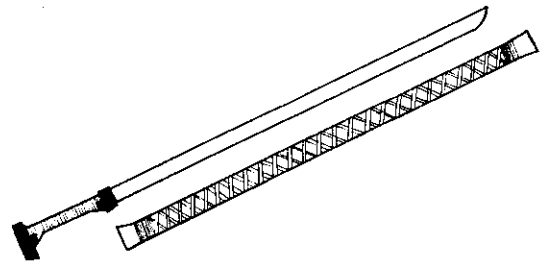
①鉄を加熱して何度も叩いて作りたい形にする



②鉄を冷やして硬くする



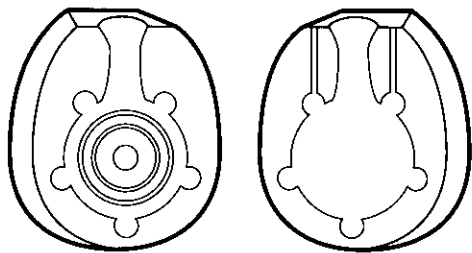
③きれいにみがく



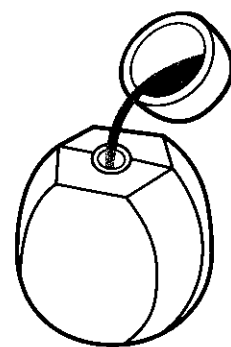
④装飾品などをつけて完成

鑄造（五鈴鏡を例として）

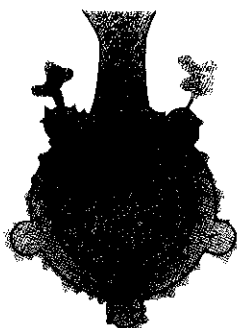
溶かした金属を型に流し込む方法で、複雑な文様や同じものをたくさん作るのに向いているよ！



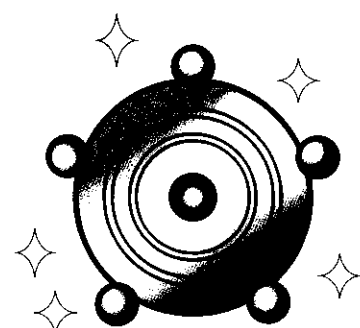
①土で型をつくって2つを組み合わせる



②溶かした金属を型に流し込む



③金属が冷えて固まったら取り出す



④きれいにみがいて完成